

OZAWA TIMES

vol. 3

2021年5月25日発行

全従業員が
熱意・情熱を注ぐ
成長・向上できる
場を提供し
幸福を



営業部部長代理
兼 第一工事部マネージャー

西 真平

河和事業所で部長代理を務める西真平。2017年に入社して以来、施工管理者として現場での経験を積んできた。異業種から転職した当初は、自分の知識のなさに自信を失いかけたこともある。しかし、失敗を学びの機会と捉え、常に成長を続けてきた。そんな西の素顔に迫る。

施工管理者として スキルアップを目指したい

株式会社小澤製作所を知るきっかけとなったのは、会社の求人情報だ。前職でも一緒に働いていた深見が教えてくれた。前職は建設物の解体業者。施工管理と営業を任せられ、マンションやホテルの解体のほか、駐車場や国道など、様々現場を経験した。もともと施工管理という職種に魅力を感じて入社した会社で、仕事自体には大きなやりがいがあった。しかし、プライベートとの両立は難しく、転

職を意識し始めた頃、「興味があれば面接を受けてみたらどうか」と深見から声をかけてもらつたのだ。

業界は異なるが、同じ施工管理という職種ならキャリアアップも望める。働きやすい環境や通勤などの待遇の手厚さも入社の決め手となつた。

得意先への出入り禁止令

同じ施工管理という職種であつても業界が違えば必要な知識も変わつてくる。入社当初は戸惑いも多く、知識不足による失敗もあつた。中でも忘れないのは、入社して1年が過ぎた頃。小澤製作所の主要取引先で施工を担当していた時の出来事だ。職人への指示ミスが原因で、工場が止まりかけてしまうという事態が発生したのだ。一步間違えれば大きな事故にならぬなりかねず、お客様の怒りも相当なものだった。すぐさま、

社長の澤井に伴われて謝罪に向かつたが、しばらくの間、西の出入りは禁止となつた。

手ぶらで戻るのは 許されない

一時的とはいえた入り禁止になってしまったショックは大きく、かつてないほどに落ち込んだ。しかし「ここで諦めてなるものか」と、闘志にも火がついた。再び仕事を任せてもらえるよう、取引先からの信頼を必ず取り戻してみせると固く心に誓つたのだ。出入り禁止となつた原因は、ブローアーやダクトに溜めたままにし

充分な知識と共に、 再び主要取引先へ

半年ほどすると、再び主要取引



先での仕事を許された。勉強の甲斐もあり、再スタートを切った後は大きな失敗もなく、順調に経験を積んでいった。そして、ついには大型の案件を任されるまでに信頼を回復する。2020年に受注

コロナ禍での 制限が転機に

施工管理者として順調にキャリアを伸ばしてきたが、2020年に流行し始めた新型コロナウイルス感染症によつて変化が生まれる。それまでは主要取引先に常駐



(後編に続く)

した大型設備の撤去工事において、見積りから施工管理まで、一貫して携わることになったのだ。

撤去するべき大型設備やダクトは、視界と足場の悪い屋根の上に

あり、レッカーを使用して撤去作業を行う。そんな危険の多い現場では、緊張する場面も多くあつた。しかし、事故なく安全にすべての工程を工期内に終えられたのは、失敗から学んだ教訓をしっかりと活かして、現場を管理できたからにほかならない。

「これで過去の汚名をようやく返上できる」

西は安堵すると同時に、新たな実績を作れたという大きな達成感を味わつた。

して施工管理を任されていたが、感染対策のため工場への入場が制限されるようになつた。様変わりした経済環境に対応するために営業も任され、「新しい取引先を開拓する」というミッションを与えられたのだ。こうして西は、営業担当としての次なるステージに挑んでいく。

業務紹介

振動測定の概要

機械の運転時に波形を計測し、機械の状態を見る予知保全の机上業務です。数時間の測定から波状の分析を行い、実際に機械を動かす方に不具合があるかを聞いて報告書にまとめ、測定結果をお客様に説明します。その後お客様から要望があれば点検や修繕を行います。

2020年11月に始まり、半年間で2社、12台を請け負いました。



製造本部 副本部長
ふかみ えいじ
深見 英司さん

印象深い点

今まで機械工事や配管工事が主な業務でした。振動測定はまだ始まつばかりであり、ゼロから作り上げている途中です。測定を経て、部品交換につながったものもあります。

担当は私一人なので、専門の方とも話し合いながら、日々勉強しています。測定をすればするほどに奥深さがわかり、非常に学びの多い業務です。

測定の要望は増えており、これから広がる分野だと思います。



▲振動測定の様子



機器の確認作業▶

今後の意気込み

振動測定は新たな受注、整備、補修の仕事につながる大事な業務であり、会社全体の売り上げや仕事量に関わってきます。

年間50機を目標に、日々知識を増やしながら、業務に励んでいきたいと考えています。

苦労したこと

波形から不具合を読み取ることです。「なぜこの形の波形が出ているのか」を間違いのないよう解明しなければなりません。

特に表記に関しては、間違えると全く異なるものになってしまいます。間違いないようメモを取りながら測定をして波状を分析し、一つの案件に述べ8時間ほどかけて報告書にまとめています。



嬉しいところ

「報告書わかりやすいね!」と言っていただけることです。
まだフォーマットも定まっていないので、一つひとつお客様が見やすい形を考えながら作っています。



IZUMI PARKING 実績紹介

それぞれの仕事にはそれぞれのやりがいがある。

今回はいづみパーキング新栄営業所の近藤さんに日々の業務や案件について伺いました。

こんどう あつし
近藤 篤志さん

業務内容

ホテルの駐車場で車の出入庫の管理と接客を行っています。現在は2つのホテルを担当として働いています。

仕事のやりがい

事故もなく、一日を無事に終われたときにやりがいを感じます。加えて、お客様と接するときにやりがいを感じること。5分に満たない時間での接客対応ですが、短い時間であるからこそ、お客様に接客について褒められる「次も頑張ろう」と思えます。



業務で向き合ってきたこと

ミスを他の誰のせいにもできないことです。駐車場管理・接客業務は基本的に自分で行う仕事で、上司も同僚もそばにはいません。故に、責任感を非常に感じる仕事です。
幸い、今まで事故を起こしたことはありませんが、細かいミスによってクレームを受け、辛く感じた時期がありました。ただ、辛いと同時に、その経験によって自分と向き合い、成長できたとも感じています。

働くいてから気づいた業務の難しさ

どのような仕事よりも確実性が求められます。駐車場管理はただ車を入れればよいだけではありません。一つの駐車場の中でも区画によって、入れる車の高さや車幅が異なります。それらを考慮し、駐車場に案内しなければならず、一つのミスが大きなトラブルに繋がります。
このような環境ですので、人一倍注意力が必要とされる感じます。

BRICKYARD Recommended

新緑が目に鮮やかなこの季節。今月はBRICKYARDのイチオシをお教えします。

Monthly SELECTION

今月は壁一面に広がる黒板についてご紹介します。縦・横共に3メートルと、かなり大きなサイズであり、背景などによく使われています。そのまま使用することはもちろん、文字や絵を描いたり、マグネットで写真を貼ったりなど、好みに合わせてカスタマイズすることができます。
普段はなかなか注目されることがないので、この機会にぜひ触れてみてください。

Customer's Voice

初めて利用された方がその後もリピートして来ていただけるようになったときには、言葉がなくてもお客様が満足された様子が伝わってきて、嬉しい気持ちでいっぱいになります。私たちも言葉で伝えることは叶いませんが、いつもBRICKYARDを利用していただけるお客様への感謝の気持ちを込めて、これからもより良い空間づくりに努めてまいります。

春も終わりに近づき、夏の気配を少しづつ感じるようになってきました。季節の変わり目には気分を新たに、次シーズンの洋服やヘアスタイルの撮影はいかがでしょうか。
当スタジオでは新型コロナウイルスが流行している最中、足を運んでくださるお客様に安心して利用していただけるように、入口にアルコール消毒液を設置するなど、感染対策を徹底しています。スタジオの西側には大きな窓があるので換気もバッチリ!ご利用お待ちしております。

文章:BRICKYARD 香山 淳季さん